



実技を交えながら社会人力を高める言葉選びを考える

新社会人のつどい

6月6日

## 仕事に生かす社会人力を学ぶ

つどいはあえりあ遠野で行われ、市内に今春就職した社会人38人が参加しました。新社会人を代表して生内朋亜さん(㈱ワイ・デー・ケー東北工場)があいさつ。研修ではフリーアナウンサーの村井由紀子さんが「社会人力を高める言葉選びのコツ」をテーマに講演しました。似田貝翔さん(岩手東亜DKK)は、「わからないことは先輩に聞いたりメモを取ったりして、丁寧な仕事を心がけたい」と抱負を語りました。



土を掘って、カラマツの苗木を植える参加者

遠野市緑化祭「里山フェスタ2023」

6月10日

## 森林の大切さ、次の世代へ

市緑化祭が欄場市有林(宮守町宮守)で行われ、森林愛護少年団の児童や農林業関係者など約400人が参加。森林の役割や里山を守る大切さについて理解を深めました。クワで土を掘り起こしカラマツの苗木2千本を植樹。記念標柱を建立し苗木の成長を願いました。千葉汰成さん(宮守小6年)は、「森林や林業のことを学ぶことができて楽しかった」と笑みを浮かべました。



あいにくの天候でも山頂にはにぎわいが広がった

「早池峰山」が山開き

6月11日

## 登山シーズンが幕を開ける

花の百名山の1つである早池峰山で山開きが行われ、県内外から約400人が参加しました。小田越登山口で入山式が行われた後、登山客は山頂を目指して出発。山頂では早池峰・岳神楽保存会が権現舞を奉納し、登山の安全を祈願しました。毎年早池峰山を登っている菊池福盛さん(青笹町)は、「花の名山にふさわしく高山植物が美しい。ゆっくり登り、じっくり観察できた」と登山を楽しみました。



阿部団長を先頭に一糸乱れぬ分列行進を披露

令和5年度遠野市消防演習

6月11日

## 防火・防災の意識を高める

消防演習は早瀬川緑地公園を会場に開催されました。消防団員やラッパ隊隊員ら総勢541人と消防車両計38台が集結。阿部和美団長は、「日頃から大規模災害を想定した訓練を行い、どんな災害にも対処しよう」と訓示しました。演習では分列行進やラッパ隊ドリル演奏の他、達曾部・鱒沢小学校少年消防クラブが軽可搬ポンプ操作法を披露。団員らは訓練を通じ、防火・防災意識を高めました。

5月21日 第61回遠野郷人会総会

## 離れていても、古里遠野を思う

総会は都内で開かれ、首都圏に住む本市出身者ら126人が参加しました。昨年度事業報告や、本年度の事業計画などを審議承認。本年度は遠野物産フェアや市ふるさと納税の協力に取り組みます。総会後は落語や抽選会などの催しを開催。参加者は、久しぶりの再会に親睦を深めました。菊池昭二さん(宮守町出身)は、「古里を思う気持ちはどこにいても一緒。遠野のためできることは協力したい」と笑顔を見せました。



総会で本年度も遠野のため事業に取り組むことを確認

5月30日 遠野市と淑徳大学との地域創生に関する連携協定

## 地域創生をタッグで推進

市と淑徳大学(埼玉県)が同協定を締結しました。遠野を学びのフィールドに、地域課題を解決できる人材育成をすることが目的。今後は、▷地域創生の推進▷協働事業の実施▷地域創生に資する人材の育成——などに連携して取り組みます。同大の山口光治学長は、「地域で実践的な学習ができることを期待している。学生が長く遠野と関わることができる学びを推進したい」と今後の展望を語りました。



地域創生の推進に向け連携を誓う

6月1日 AIパーパードライバー講習

## 東日本初！ AI講習始まる

遠野ドライビングスクールが東日本で初めてAIによるパーパードライバー向けの講習を始めました。安全運転意識の向上を図ることが目的。指導員が同乗しなくても車体に組み込んだシステムが自動測定します。運転後はAIが結果をスコア化。指導員がAIの点数を参考に改善点を指摘します。講習を受けた小室光太さんは、「点数化されると直すポイントが分かりやすい。安全運転を心がけたい」と気を引き締めました。



教習車に1人で乗り、AIの指示により講習を受ける参加者

6月4日 町民運動会開催

## 4年ぶり、笑顔と歓声広がる

運動会が遠野町と附馬牛町で開催され、地域住民約750人が参加しました。▷玉入れ▷竹竿を持ち横一列で走る台風の目りレー▷輪投げ——など工夫を凝らした多彩な種目を実施。4年ぶりの開催で、会場は笑顔と歓声が広がりました。阿部穂花さん(遠野小1年)は、「玉入れていっぱい入れることができて楽しかった。来年は別な種目にも参加したい」と声を弾ませました。



高得点目指して狙いを定める選手